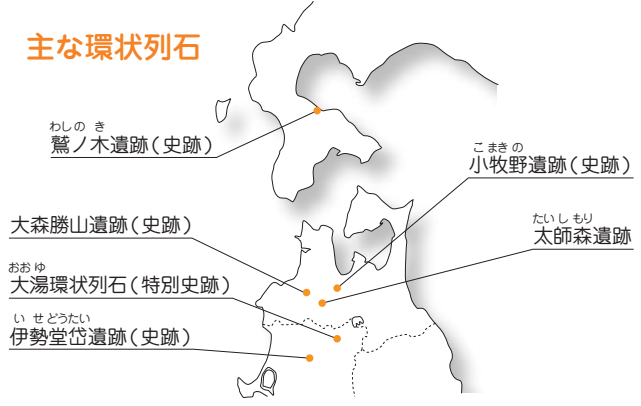


環状列石(ストーンサークル)ってなに？

大森勝山遺跡のような、直径数十メートルにおよぶ大型の環状列石は、縄文時代後期初め頃(約4,000年前)に、北東北から南北海道にかけて作られています。多くの環状列石では、作る前に自然の地形を作り替える土木工事を行ったり、石の下や周囲にお墓を作ったりしています。また、環状列石の周りに人はあまり住んでおらず、石を運ぶ時などに周りの村から集まってきて作ったようです。このような特徴は、約1,000年後の縄文時代晚期前半に作られた大森勝山遺跡でも見られます。

どうやら、環状列石は死者を弔ったり、祭りを行ったりする特別な場所だったようです。

主な環状列石



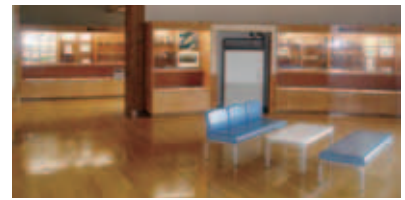
出土品の見学

大森勝山遺跡の環状列石が作られた縄文時代晩期は、美しい文様をもつ製品を作る文化(亀ヶ岡文化)が栄えた時期で、遺跡からも同じような文様を持つ土器が出土しています。出土品は下記の施設に展示されていますので、訪れてみてください。

- 裾野地区体育文化交流センター
- 藤田記念庭園考古館



出土した注口土器



裾野地区体育文化交流センター 展示コーナー

※開館時期等は「出土品展示施設のご案内」をご覧ください。

アクセスマップ



【史跡を見学されるみなさんへ】

- 児童のみなさんは、保護者と一緒に見学しましょう。
- 現在、環状列石・大型竪穴建物等の遺構は保護のため埋め戻されています。
- 史跡の駐車場へは、農作業車優先の農道を案内標識より1.2km進むこととなりますので、ご協力ください。また、スピードの出し過ぎ、乱暴な運転などはおやめください。
- 史跡内の見学は自由となっていますが、園路や柵などは整備されておりません。遺跡を散策される際には、転倒、急斜面・河川での滑落などに十分お気を付けください。
- 遺跡内は火気厳禁です。
- 周辺の農家の方々の迷惑となるような行為はおやめください。
- 大雨の時には河川が増水しますので、ご注意ください。
- クマ・ヘビ・ハチなどが出没するおそれがありますので、ご注意ください。

出土品展示施設のご案内

- 裾野地区体育文化交流センター(無料)
 - 【開館時間】 午前9時～午後9時
 - 【休館日】 月曜(祝休日の場合は翌日)
 - 年末年始(12/29～1/3)
 - 【TEL】 0172-99-7072
- 藤田記念庭園考古館(有料)
 - 【開館時間】 午前9時～午後5時
 - 【休館日】 冬期間(11月下旬～4月中旬)
 - 【TEL】 0172-37-5525(藤田記念庭園事務所)

お問い合わせ先
青森県弘前市教育委員会文化財課
〒036-1393
弘前市大字賀田一丁目1-1 弘前市岩木庁舎 3階
TEL 0172-82-1642

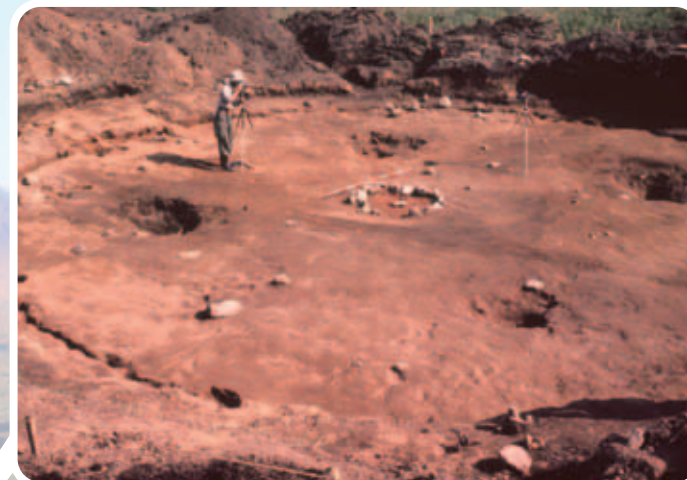


国指定 史跡 大森勝山遺跡

三千年前の環状列石
ストーンサークル



岩木山(1,625m)



地盤を掘って作り、直径が18.0メートルもあり、真ん中には、石で囲んだ炉(煮炊きなどに使用)が作られ、火を燃やせるようになっています。たくさんの方が入れる集会場として使われたのかもしれませんが、現在は遺跡が壊されないよう埋め戻されていて、大きな凹地となっています。



大型竪穴建物跡

大森勝山遺跡

環状列石

見学路



説明板

駐車場

約1,200個の石を並べてつくられた大きな環で、上空から見ると楕円形をしています。長い方の直径が48.5メートル、短い方が39.1メートルあります。石は大きいもので約1メートルもあり、縄文人はどのようにして運び、ストーンサークルを作ったのか考えてみましょう。現在は遺跡が壊されないよう埋め戻されています。

空から見た大森勝山遺跡(平成19年撮影)